

うこと、それは結構ですが、日本の対外開発援助の額は、あまり多くないですね。GNPに占める政府開発援助（いわゆるODA）の割合は、日本がおよそ〇・二パーセントで、カナダは〇・六パーセント弱というところですよ。私が目にした最も新しい数字は一昨年のもですが、それによると日本、カナダとも政府開発援助は年間約十二億ドルで、同額です。

日本人は日本が昨年、安全保障理事会のメンバーに選ばれなかったといつて非常にびっくりしたようですが、私には驚きでも何でもなかったですね。正直なところを申し上げますか。

松山 どうぞどうぞ。

大使 日本の国連運営費負担額の多少は、大して重要ではありません。重要なのは政府の対外開発援助額ですよ。カナダがやっているような、国連の平和維持活動に日本が参加する——例えばナミビアにおける国連選挙監視委員会に民間人を派遣する、というようなことが言われていますが——ということも、大して重要ではないでしょう。安全保障理事会のメンバーになるだけの支持を得るには、政府援助額を〇・二パーセントから〇・七、〇・八パーセントに引上げることが肝心です。しかもできるだけ早く。その方が大事ですよ。

松山 ごもつともです。はっきり申し上げて、日本の対外援助政策は、利率や短期的な効果にばかり目を向けた大蔵省的なベースで進められているのであって、政治家のベースでは進められておりません。というわけで、日本はどうも、対外援助をしなければ他の国々に嫌われるから仕方なく開発途上国を援助しているの

だ、という印象を世界に与えています。日本はGNPが大きいくせに、対外援助を出し渋っているため、悪評さくさくです。南北問題が日本の政界、財界、あるいはマスコミであまり人気のあるテーマとなっていない。それだけに、第三世界に関するカナダの研究が非常に進んでおり、また首都オタワで多くの人々が南北問題に取り組んでいることに、感銘を受けました。日本がカナダから学ぶべきことは多いですね。

大使 私自身も驚いているのですが、対外開発援助を与えるについて、これまでにカナダでは常に国民の方が政府より一歩先んじていました。

松山 カナダ人がいかに国際意識をもっているか、ということが分ります。

大使 とは言っても、対外援助とか、南北間の対話というのは、つい最近になってからの現象です。戦後の現象ですよ。間違っても沢山ありました。開発援助に関する一種の科学というか、経済学が生まれてから、いくらもたつていません。日本は市場開発がうまいだけに、この分野で重要な貢献ができると思います。日本は南北間の対話を経済的に理解しているし、その点、もっと前向きな役割を果たすよう期待したいですね。日本政府は、三年間に政府開発援助額を倍増すると発表していますが、これはいいことですね。

ちよつと面白い話を紹介しましょうか。二、三か月前のことですが、ある日本政府の高官が、私に「日本は対外開発援助を増額すべきだとお考えでしょうね」と聞きました。「ええ」と私はお答えしました。すると、彼は「遺憾ながら、あなた

は慈善が生活の一部となっているキリスト教国から来られた。ところが、神道は慈善心を持ってなんて全く言っておりません」。その人はおそらく半分冗談だったのだと思いますが、半分は本気だったでしょう。どう思いますか、松山さんは。

平和維持活動

松山 慈善を対外援助と結びつけるなんて、初めて聞きました。そういう考え方は、第三世界に逆効果をもたらすことがありましよう。ところで平和維持軍についてですが、カナダが国際社会で影響力をもっている理由のひとつは、カナダがキプロス、中近東、その他の紛争地域に平和維持軍を派遣しているからだ、と私は思いますね。

大使 第二次大戦以来、カナダはあらゆる平和維持作戦に参加してきました。

松山 その点、日本にはいわゆる平和憲法があつて、カナダとは勝負になりません。

大使 それはどうですか。日本では、どうも安全保障理事会に選ばれたり、国際社会への貢献者として認められるには、まず平和維持活動をすることが先決だと考える向きがあるようですが、私はそう考えませんね。日本の果たすべき役割がそこにあるとは、私は思いません。日本がそういう意味で平和維持に貢献しようというのは、かえつて逆効果だという気さえます。平和維持活動を通さなくても、日本が国際舞台で活躍できる方法はいくつもあります。カナダに平和維持活動ができたのは、率直に申し上げて、わが国が一度も帝国主義国家であつたことがな

かつたからです。カナダの人口はわずか二千三百万で、われわれには優秀な軍隊があつた——だから平和維持活動に参加して、第二次大戦後カシミールへ小規模の部隊を送り、あるいはサイール（当時はコンゴ）やキプロス、中東、ベトナムへ派兵したのです。

カナダがこうした平和維持活動に参加できたのは、大国でもなければ、かつて帝国主義国家でもなかつたからです。日本は大国であり、帝国主義の背景をもっています。日本は平和維持活動を通じて国際的尊敬を得るんだ、と日本の一部の指導者が考えているとしたら、大きな誤解だと思います。



松山 平和維持軍を派遣することに關して、カナダの野党は強く反対していませんか。

大使 それはないと思います。

松山 これについては、自由党と進歩保守党の間に意見の相違はない、ということですか。

大使 そういう役割というのは、自然に生まれて定着した、そういう感じですね。ところで、今しがた、日本は直接（平和維持活動に）参加するには大国すぎる、と申し上げましたが、例えばナミビアの